

会 議 録（概要）

会議の名称	令和元年度 第2回 佐渡市自家用有償旅客運送運営協議会
開催日時	令和2年2月26日（水） 9時30分開会　　10時00分閉会
場所	両津地区公民館3階　第2学習室
議題	（1）協議 福祉有償運送の登録申請内容に係る協議について
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡市 交通政策課長 高津 孔 ・佐渡市 高齢福祉課長 岩崎 洋昭 ・新潟交通佐渡㈱ 代表取締役専務 村山 優樹 （代理：島田 久利） ・佐渡地区ハイヤー協会 副会長 伊藤 義彦 ・新潟交通佐渡労働組合 執行委員長 金子 秀道 ・北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官 近藤 高弘 （代理：塩原 隆太郎） ・佐渡市社会福祉協議会 常務理事 塚本 寿一 ・佐渡市民生委員児童委員協議会 民生委員児童委員 笠井 豊 ・佐渡市老人クラブ連合会 顧問 計良 益夫 ・社会福祉法人佐渡ふれあい福祉会 事務長 金子 正人
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
高津会長	<p>《開会》</p> <p>開会あいさつ</p> <p>今回は、羽茂地区に事業所を置かれているふれあい館南佐渡様から福祉有償運送の登録申請がございましたので、委員の皆様からご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p>
事務局 計良	新委員紹介

事務局 木下	<p>・佐渡市民生委員児童委員協議会 民生委員児童委員 笠井豊 様</p> <p>(会議の成立について)</p> <p>佐渡市自家用有償旅客運送運営協議会設置要綱第4条第5項により、協議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができないとなっている。当協議会の委員は12名、本日の出席委員は10名であり、会議が成立することを報告。</p> <p>議事</p> <p>(1) 協議</p> <p>福祉有償運送の登録申請内容に係る協議について (資料No.1に基づき説明)</p>
金子委員	<p>以前南佐渡地域で営業ナンバーを取得しての運行を開始したが、数年前に事業を廃止している。近年高齢化需要の高まりで通院される方からの依頼が増加しており、金井地区でケア輸送を実施しているがなかなかお答えできない状況の中、地域貢献として福祉有償運送の事業申請をさせていただいた。あくまでも通院等でお困りの方にどれだけ貢献できるかという取り組みである。</p>
岩崎委員	<p>運行計画にある対象者について、現在10名程度を見込んでいるとあるが、事業所の利用者と登録をした方となっている。具体的にはグループホームの利用者となるのか、それともふれあい館のサービスを受けている例えばヘルパーの利用者等を想定しているのか。</p>
金子委員	<p>グループホームの利用者については、協力病院は通常介護職員で対応している。今回申請する対象者は、当法人のサービスを利用されている契約している福祉用具貸与の利用者、あと訪問介護サテライトで在宅サービス行っている方、特に南佐渡地区でサービスの契約をされている利用者を中心としている。輸送の対象はあくまでも移動困難者であり、車両も車椅子車両を用意する。</p> <p>・・・福祉有償運送の登録申請内容に係る協議について 承認・・・</p>
笠井委員	<p>その他</p> <p>南佐渡にはこのような介護タクシーが無かったためありがたいが、ふれあい館に登録している方が対象となっているが、高齢化等で介護認定を受けていなくても移動困難な方がかなりいると聞いて</p>

金子委員	<p>いる。ふれあい館以外の施設を利用している方もいる。そういった方利用したい場合は可能なのか。</p> <p>当法人でも協議をしたが、南佐渡の輸送会社が無いなかで許可をもらって開始しても、全部の地域の方の対応はできないため、身体の状態も把握出来ている当法人の契約利用者とした。南部でも福祉タクシー利用券で国仲のタクシーを利用される方もいる。車両も1台のみで利用可能者は限られる。</p>
高津会長	<p>この後、地域公共交通活性化協議会が開催されるが、小木地区の宿根木線という路線が小木から江積まで行っている。それをこの先バスとしての運行ではなく他の運行で考えている。木野浦等バスが走っていない交通空白地の解消に向けて、代替交通も検討を進めているところである。</p> <p>《10：00 閉会》</p>